

基礎案での記載箇所		章項目	5. 7. 2	ページ	p.58	行	11行目
事業名	川上ダム建設事業		河川名	川上ダム			
府 県	三重県	市町村	伊賀市		地先	阿保、羽根	

●現状の課題

・木津川の岩倉峡上流の上野地区では、狭窄部が支障となっており、浸水が生じやすい地域である。

・貯水池の規模・運用の変更に伴い、生物、貯水池および下流前深瀬川・木津川への影響等の既往の調査検討結果について、補足・追加が必要となる場合がある。

●調査検討の方針

・上野遊水地と併せて、岩倉峡上流上野地区の既往最大規模の洪水を対象に浸水被害の軽減を図る。

・貯水池規模・運用の変更に必要となる調査・検討を実施する。

●位置図



●具体的な調査検討内容

・代替案に関して、さらに詳細な検討を行う。

・貯水池規模の見直し並びに貯水池運用の変更に伴う貯水池周辺やダム下流に与える影響をはじめ、環境等の諸調査を行う。

・土砂移動の連続性を確保する方策の検討を行う。

・利水について、水需要の精査確認を行う。

●平面図

岩倉峡上流の位置図



岩倉峡(上流より)



上野遊水地(下流より)



環境調査実施状況

環境調査実施状況(昭和62年度～平成15年度)

項目 \	和暦年度		62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	西暦年度		87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03		
環境基礎調査	基礎調査	雨量																			
		流量																			
	陸域:植生ベースマップの調査																				
	河川域:河川形態、河床材等の調査																				
水質調査																					
動植物調査	陸上植物																				
	大型水生植物																				
	付着藻類																				
	哺乳類																				
	鳥類																				
	希少猛禽類																				
	爬虫類																				
	両生類																				
	オオサンショウウオ																				
	魚類																				
	陸上昆虫類																				
底生動物(水生昆虫類等)																					

↑
「三重県環境影響評価の実施に関する指導要綱(昭和54年3月9日付三重県告示10724号)」に基づく環境影響評価の公告・縦覧(平成4年6月)

2. ダム下流(前深瀬川合流～岩倉溪谷)環境調査状況(平成15年度)
・河川域(河川形態、河床材等の調査)・魚類・底生動物(水生昆虫類等)

川上ダム周辺で生息・生育を確認した動植物の種類

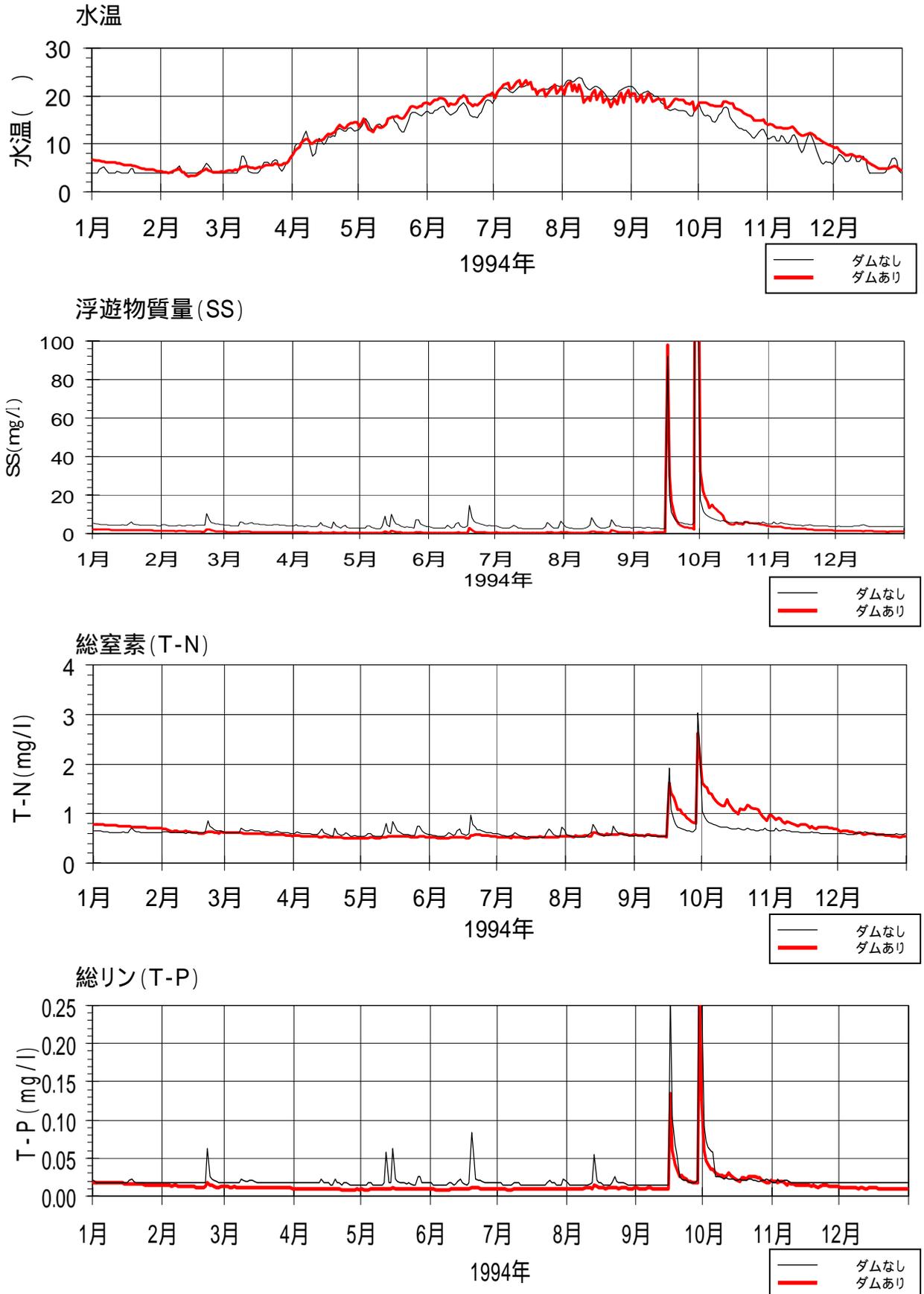
川上ダム周辺で生息・生育を確認した動植物の種類

分類	確認種類	特徴的な動植物の種類
植物	143科 949種	アセビ、ヒツジグサ、セリ、ツルヨシ等
付着藻類	19科 106種	ホメオスリックス、クノジケイソウ、ハリケイソウ等
哺乳類	10科 20種	ニホンイノシシ・ニホンザル・タヌキ・キツネ等
鳥類	43科 132種	カワウ・ヒヨドリ・ヤマドリ・キジバト・ウグイス等
爬虫類	4科 9種	イシガメ、カナヘビ・シマヘビ・マムシ等
両生類	6科 11種	アマガエル・トノサマガエル・イモリ等
魚類	12科 30種	オイカワ・シマドジョウ等
昆虫類	271科 1626種	春:ハンミョウ、ナナホシテントウ、モンシロチョウ、キアゲハ等 夏:ミヤマクワガタ、カブトムシ、シマゲンゴロウ等 秋:ホソミオツネトンボ、マユタテアカネ、エンマコオロギ等
底生動物類	78科 211種	イトミミズ、ミズスマシ、ユスリカ等

調査により数多くの動植物を確認している。

水質シミュレーション結果の例

表層取水による従来の規模・運用での水質シミュレーション結果(1994)



新しい貯水池規模・運用に対する調査検討を行っていく。